

室内用

電波時計 取扱説明書

(デジタル電子音目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

電池は付属しておりません。単3形乾電池を2個ご用意ください。

各部の名称と役割

○図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

①リセット — 誤作動を防ぐために電池を入れた直後に押す。押すと2010年1月1日午前12:00、アラーム時刻午前6:00になります。

②時刻合わせ — 手で日時を合わせるときに使用。押しすぎると12/24時間表示切り替え。

③強制受信 — 押すすぐに受信を開始します。

④進む — アラーム時刻や受信日時を合わせるときに使用。

⑤戻る — 戻る。

⑥アラームスイッチ — アラームのON/OFFスイッチ。

⑦スヌーズ — アラーム音の一時停止。押すと照明点灯。

1 使いはじめるとき 電池を入れて標準電波を受信して日時を合わせる

標準電波を受信しず、手で時刻を合わせるときには、「**手動での時刻合わせ**」をお読みください。

○電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

電池を入れたときは、電池ぶたを開閉してください。

電池をセットしたときやリセットを押すと「ピー」と鳴ります。

①電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる

②リセットを押すと受信マークが点滅し受信を開始します

○受信中はボタンに触れないでください。

③受信結果を確認する

受信は、最長で約2分を行います。受信マークで受信結果を確認してください。

※「受信の流れと表示」参照

受信マークの変化
電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)

受信できない [点滅] → 受信しやすい [点滅]

① ② ③ ④ ⑤

【受信の流れと表示】

リセットを押した直後

受信マーク (受信中点滅)

受信終了 点灯 消灯

① ②

○受信マークは受信成功後、24～25時間点灯。

○受信に成功しても、ノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。

このようなときは、場所を変えてからリセットを押し、再度受信を試みてください。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく

と受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える/受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考に、電波の送信所に時計の正面

面または裏面が向くように置き直し、リセットを押して結果を確認します。

手動での時刻合わせ … 電波が受信できないときや任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定してください。

年月日、時刻(時、分)でのボタン操作 操作例 2015年12月25日 午前10:37に合わせる

点滅している数値を進むまたは戻るで合わせてから時刻合わせを押すと数値を確認して次のステップに進みます。

①西暦年が点滅するまで時刻合わせを約2秒間押し続ける

②年を合わせる

③月を合わせる

④日を合わせる

⑤時を合わせる

⑥分を合わせる

分のときに、進むまたは戻るを押すと秒が00になる以上で設定が終わりました。

●約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。

●アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、日時の設定はできません。

●標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

●電波受信機能がONのときは、受信に成功すると日時を自動修正します。

2 アラーム機能を使う

アラーム時刻の設定

①アラームスイッチをOFFにする

②進むまたは戻るを押してすぐ離す

「アラーム」が点滅して、アラーム時刻が点滅。

③進むまたは戻るでアラーム時刻を合わせる

④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる

操作 押してすぐ離す 押し続ける

進む 1つ進む 早送り

戻る 1つ戻る 早戻し

午前/午後での表示に注意。
表示されていない場合は24時間表示です。

アラームのON/OFF設定

ON：設定したアラームが鳴る。

アラーム時刻とアラームマークを表示

OFF：アラームを止める、鳴らさない。

日付を表示

アラームスイッチ アラームマーク

鳴らす ON

止める OFF

「アラーム」が表示されます。

スヌーズ機能(止めてもまた鳴る)

アラームが鳴っているときに、スヌーズを押すとアラームマークが点滅して約5分

間アラームが停止しますがまた鳴り続けます。この操作は7回まで繰り返して使用する

ことができます。8回目は、スヌーズを押すとアラーム音は止まります。

オートストップ機能(自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約2分間

鳴って止まります。

アラーム音を試聴するには

アラーム時刻を現在時刻より、1～2分進

んだ時刻に合わせて、アラームスイッチをONにしてください。アラーム時刻になると

アラームが鳴り出します。

アラームで使用上の注意

アラームスイッチがONのときは、毎日

アラームが鳴ります。アラームを使わないときはOFFにしてください。

照明について

スヌーズを押すと表示面が約3秒間照明

されます。照明時は正面面や上方より見てください。他の方向から見ると読めないこと

があります。

時刻表示の切り替え

時刻合わせを押してすぐに離すと12時間表示と24時間表示を切り替えることができます。

午前/午後後12時間表示 24時間表示

3:37 → 15:37

次の状態のときは、表示の切り替えが出来ません。

- 電波の受信中
- アラーム状態
- アラーム時刻、日時の設定中

*アラーム状態とは、アラームが鳴っているまたはスヌーズ機能を使用している状態。

温度・湿度表示

本製品は、一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。

○センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度・湿度を反映するまでには時間がかかります。

○直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近く、温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。

○測定する高さによっても、温湿度に違いが出ることがあります。

※厳密な温湿度管理をする用途には適していません。また、温湿度の証明や商取引には使用できません。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度「HH」50℃より高温 「LL」-9.9℃より低温

湿度「HH」95%より多湿 「LL」20%未満 「--」測定不可

*湿度は温度が5～50℃のときに測定可能

電池の交換について 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

注意 電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

- 液晶表示が薄くなった、表示が欠けた、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 電池の⊕⊖を逆にしない。

※電池は、同じメーカーの同じ種類のものを使用することをお勧めいたします。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

受信機能 OFF (標準電波で日時を修正しない)

リセットをおよそ1秒間隔で3回押ししてください。

○「ピー」と鳴ってから押ししてください。

○OFFになると「ピー」と鳴りません。

○日時は手動で合わせてください。

※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

※回路内に電荷がなくなった後、電池を入れると受信機能はONになります。

受信機能 ON (有効にして受信を開始する)

戻るを押しながら、リセットを押して離すと「ピー」と鳴って受信を開始します。その後

に戻るを離してください。

○標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

強制受信とリセット

強制受信

場所を移動したときなどに、受信を試みたい

ときに表示します。受信に失敗しても日時は継続して表示します。

次のようなときは受信を開始しません。

- アラーム状態のとき
- 手動でアラーム時刻または日時を設定中
- 受信機能がOFFになっているとき

リセット

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動

したときにリセットを押しします。

リセット直後は、2010年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00に初期化されます。

受信機能がONのときは、受信を開始します。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、表示が欠けたりして正常に機能しなくなることがあります。このようなときは

リセットを押ししてください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

時計、電池の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

おもな製品仕様

使用温度範囲 -10～50℃(液晶表示可読温度範囲0～40℃) *結露しないこと

時間精度 標準電波受信成功直後の表示精度 ±1秒

標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(温度が5～35℃のときのクォーツ精度)

使用電池 単3形マンガン乾電池 JIS規格 1.5V R6P 2個

※単3形アルカリ乾電池を使用することができます。

電池寿命 約1年(1日当たりアラームを30秒間鳴らし、照明を3秒間点灯したとき)

表示方式 LCD/液晶

時刻表示形式 12時間/24時間 選択式

標準電波 標準電波を受信して日時を自動修正

受信回数 1日8回

受信ON/OFF あり

受信時刻 1時、2時、3時、4時、13時、14時、15時、16時 各時間帯の16分40秒に開始

アラーム機能 設定した時刻にアラームが鳴り出す

アラーム精度 表示時刻に対して±0秒

アラーム音 電子音

スヌーズ あり

オートストップ あり

照明 LCD部をLEDで照明

防塵防滴機能 なし

温度表示範囲 -9.9～50℃

湿度の精度 ±2℃

湿度表示範囲 20～95%RH*

*%RHは相対湿度を表しています

湿度の精度 ±10%RH

測定間隔 1分間隔

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見ることがあります。常温になれば正常に戻ります。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※製品の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の使用電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品 保証書 1枚

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 古い電池と新しい電池を混ぜて使わない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 種類の異なる電池を混ぜて使わない。

電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

●一部の電池は、形状的に本製品には不向きな場合があります。

(例:Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

電池の寿命について

●温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。

●買ったばかりの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10年間に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局」;おたかどの山標準電波送信所と佐賀県と福岡県の景壇にある「九州局」;はかね山標準電波送信所の2か所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(http://jjy.nict.go.jp)

※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。

標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

安全にお使いいただくためにははじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはならないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れてない。

梱包用のポリ袋をかぶらない

窒息する恐れがあります。

電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社総合サポートにてお問い合わせください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

電池の⊕⊖を正しく入れる

液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

強い振動や衝撃を与えない

故障や破損の原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない

さびや故障の原因になります。

ぬれた手でさわらない

さびや故障の原因になります。

分解や改造をしない

けがや故障の原因になります。

液晶から漏れた液に素手でさわらない

液晶が破損して漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。

下記のような場所では使わない

●性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

●直射日光が当たる所。

●暖房機器の風が当たる所。

●温度が-10℃以下または+50℃以上の所。

●火気のそば。●ほこりが多く発生する所。

●強い磁気が発生する所。

●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。

●プール、温泉場などガスの発生する所。

●調理場など多くの油を使用する所。

●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長時間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社総合サポートにてお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外表部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。 Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 リズム総合サポート https://rhythm.jp/support/

商品照会の際は、製品裏面または底面に表示のある製品番号(型番)をご確認ください。例: 8RZ○○○

お客様相談室:0120